

岐大-九大式レジメンチェック副作用モニタリング作成ツールの使い方

「岐大-九大式レジメンチェック副作用モニタリング作成ツール.xls」を起動し、この時、「マクロを有効にする」にしてください。(アプリケーションを起動する前にエクセルを立ち上げ、「ツール」→「マクロ」→「セキュリティ」を選択して、セキュリティレベルを「中」に設定しておいてください)



下図のようにいくつかのワークシートが出てきますが、「入力画面」のワークシートにして、抗がん剤名の左の「選択」欄をクリックすると▼印が出てくるので、●印にして抗がん剤を選びます。

下図は乳癌のDC療法で使われる抗がん剤カルボプラチンとドセタキセルを選んだところです。

選択	一般名	商品名	副作用	アレルギー	関節痛・筋肉痛	発熱	血管痛	血管外漏出	悪心・嘔吐	催吐リスク
-	オキサリプラチン	エルプラット	L-OHP			15.80		50.00	89.50	3
-	カベシタピン	ゼローダ	(セロ-ダ)					30.50		2
●	カルボプラチン	カルボプラチン	CBDDA	1.22	0.00	5.74	0.02	50.00	45.43	3
-	クロニジン	ロイスタチン	2-CdA	17.30		14.80				1.00
-	クレスチン	クレスチン	PSK						0.15	1
-	ゲフィチニブ	イレッサ	(イレッサ)	46.60	11.60	0.00	0.00	0.00	8.70	1
-	ゲムシタピン	ジェムザール	GEM	9.70	0.60	31.60	0.00	50.00	43.40	2
-	ゲムツスマブオノガイマイン	マイロターダ		100.00	15.00	95.00	1.40		87.00	1
-	ゴセリリン	ゾラデックスデボ	ZOL							1
-	シクロホスファミド	エンドキサン	CPA	0.20	0.00	0.80	0.06	50.00	3.80	3
-	シスプラチン(動注用)	アイエーコール	CDDP			63.50			79.80	3
-	シスプラチン(通常量)	シスプラチン	CDDP	2.10	0.20	4.70	0.00	50.00	74.60	4
-	シスプラチン(低用量・連日)	シスプラチン	CDDP					50.00		3
-	シゾフィラン	ソニフィラン	SPG			0.74				
-	シタラピン	キロサイド(通常量)	Ara-C	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	26.80	2
-	シタラピン	キロサイドN(大量)	Ara-C	56.10	4.90	90.20	0.00	0.00	95.10	3
-	セツキシマブ	アービタックス	Cmab	100.00		18.20			9.10	1
-	ダウルビジン	ダウノマイシン	DNR					100.00		3
-	ダカルバジン	ダカルバジン	DTIC	0.20	0.10	2.70	8.20	50.00	5.10	4
-	タモキシフェン	ノルパデックス	TAM						1.51	1
-	テガフル・ウラシル	ユーエフティ	UFT						3.80	2.00
-	テガフル・ウラシル	ユーエフティE	UFTE						3.80	2.00
-	チガフル・キタラシル・ネチラシルK	ディーエスワン	TS-1	0.10	0.00	1.90	0.00	0.00	26.10	2
-	テムシロリムス	トーリセル		100.00	3.40	7.70			26.00	1
-	テモゾロミド	テモダール	(テモ-ダール)					50.00	42.00	
-	ドキシゾピン	ドキシゾピン	DXR	0.70	0.00	4.00	0.00	100.00	12.40	3
-	ドキシゾピン リボソーム	ドキシゾ	DXR	100.00	1.40	12.20		100.00	60.00	3
●	ドセタキセル	ドセタキセル	DTX	4.50	4.50	45.50	0.10	100.00	50.90	2
-	トラスツズマブ	ハーセプチン	Her			44.40				1
-	トラスツズマブエムタンジン	カドサイラ		100.00	6.80	31.50			39.70	1



次に画面上部の「集計」ボタンをクリックします。

自動的に副作用モニター項目をプリントした「作成用」ワークシートに変わります。この場合、各抗がん剤の副作用発現頻度の合計が 20%を超えるものを全てピックアップするようにマクロで設定しておりますが、マクロでこの数値を代えることで、10%あるいは15%に設定することもできます。

また、このシートには新しい抗がん剤が登録されていませんので、「入力画面」ワークシートで抗がん剤の項目の末尾に新しい抗がん剤名を入力し、添付文書やインタビューフォームから副作用発現頻度を入力すれば対応可能となります。

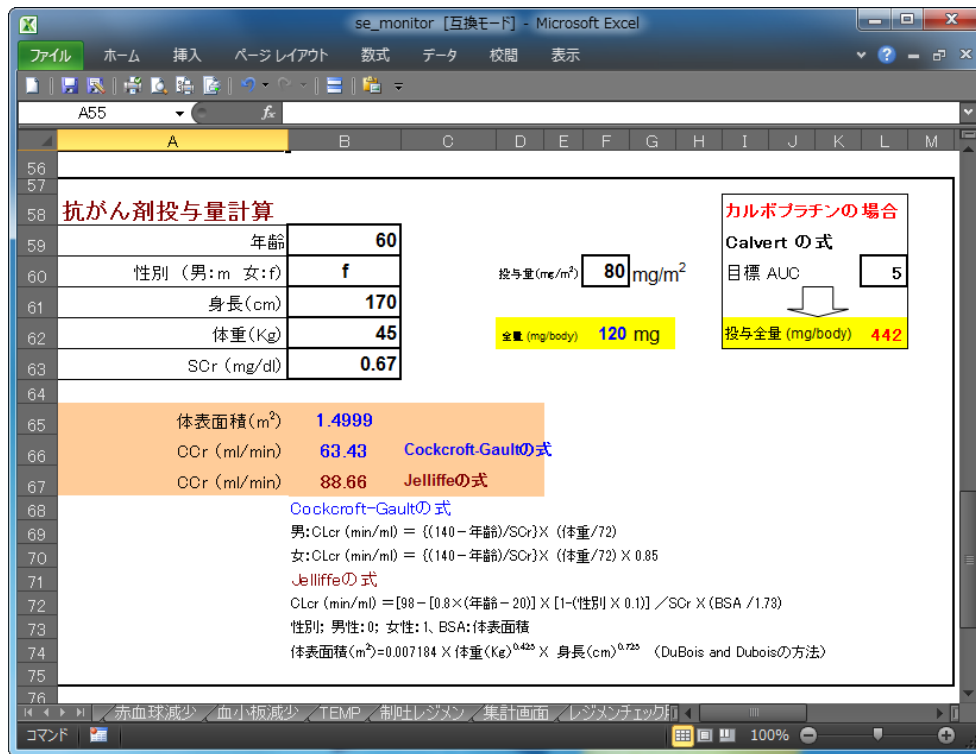
悪心・嘔吐のリスクが表示される

		カルボプラチン / ドセタキセル 療法(1 クール目)															
		Day0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
1	嘔吐リスク【中】																
2	岐阜大学病院・九州大学病院オリジナル																
3	抗がん剤	用量	全量(下記)	投与条件	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
4	カルボプラチン																
5	ドセタキセル																
10	支持療法		Day0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
11	グラニセトロン 1-3mg	静注もしくは内服		●													
12	デキサメタゾン注 9.9mg	静注		●													
13	デキサメタゾン錠 8mg	内服			●	●											
16	副作用																
17	自覚所見	発現時期	Day0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
18	発熱	1															
19	血管外漏出	1-3															
20	悪心・嘔吐	0-5															
21	下痢	7-14															
22	脱毛	14-28															
23	末梢神経障害	14-28															
24	肺毒性	2-6ヶ月															
25	白血球減少	下記															
26	赤血球減少	下記															
27	血小板減少	下記															
28	肝障害																
29	その他																

「作成用」ワークシートを複製し、図のように副作用の発現時期を着色してシートを完成させます。

		カルボプラチン / ドセタキセル 療法(1 クール目)																		
		Day0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14				
1	嘔吐リスク【中】																			
2	岐阜大学病院・九州大学病院オリジナル																			
3	抗がん剤	用量	全量(下記)	投与条件	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/				
4	カルボプラチン																			
5	ドセタキセル																			
10	支持療法		Day0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14			
11	グラニセトロン 1-3mg	静注もしくは内服		●																
12	デキサメタゾン注 9.9mg	静注		●																
13	デキサメタゾン錠 8mg	内服			●	●														
16	副作用																			
17	自覚所見	発現時期	Day0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14			
18	発熱	1		■																
19	血管外漏出	1-3		■	■	■														
20	悪心・嘔吐	0-5		■	■	■	■	■												
21	下痢	7-14								■	■	■	■	■	■	■	■			
22	脱毛	14-28															■			
23	末梢神経障害	14-28															■			
24	肺毒性	2-6ヶ月																		
25	白血球減少	下記																		
26	赤血球減少	下記																		
27	血小板減少	下記																		
28	肝障害																			
29	その他																			
31	他覚所見(検査値)		Nadir	開始	終了	Day0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
32	骨髄抑制	WBC(白血球)	8	5	32															
33		NEUT(好中球)																		
34		RBC(赤血球)	8	5	32															
35		PLT(血小板)	8	5	26															

なお、このシートの下部には、年齢、性別、身長、体重、血清クレアチニン値（SCr）を入力すると、体表面積、クレアチンクリアランスを計算し、抗がん剤投与全量もしくはカルボプラチンの場合は Calvert の式に基づいた投与量を計算するツールがあります（下図）。



なお、『がん化学療法ワークシート 第4版』（じほう）では、本ワークシート作成の解説や、作成済レジメンのワークシートを多数収めた CD-ROM が添付されているので、こちらもご活用下さい。